

フォーラムへ

提言内容を協議

北陸三県の大学、高専生

津幡町の石川高専で21日、金大や富山県立大など北陸三県の土木・工学系の大学生と高専生20人が、2月15日に富山市で開かれる「これからの維持管理を支える技術と人材を考えるフォーラムIN富山」での発表に向けて準備を進めた。

フォーラムは日本コンクリート工学会中部支部が主催し、高度成長期に全国で整備され、老朽化が進む橋やトンネルの維持管理のあり方について、産官学の参加者がアイデアを話し合う。今回は初めて学生も発表する機会が設けられる。

この日は事前に学生らを対象に実施した「未来の技術・構造物・維持管理システム」に関するアンケート結果を参考に、人工知能(AI)を活用した耐久性診断など、フォーラム当日の提言内容について協議した。